

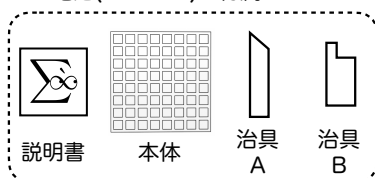


暗黒通信団

内容物：

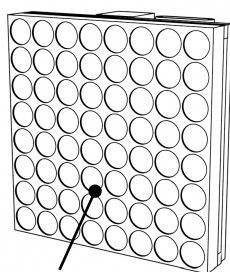
1. 説明書（本書）
2. 本体
3. 治具A(電池抜き)
4. 治具B(速度調整)

※電池(CR2032)は付属しません

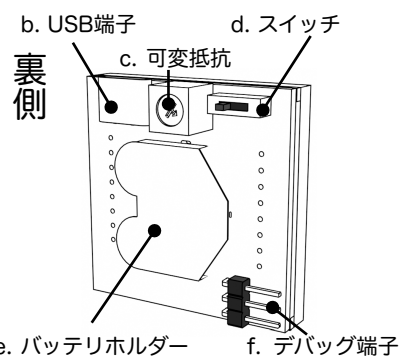


本体各部名称：

表側



a. 表示部



⚠ 注意

- USB端子を電源に繋いだ状態でデバッグ端子をPCに接続しないでください。電流が逆流してPCに悪影響を与える恐れがあります
- USB Type-Cはケーブルによっては表示されないことがあります（電圧ネゴシエーションを行うタイプだと使えないようです）

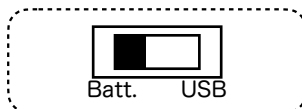
円周率1万桁電光版

2024年8月 rev.1 発行
著者：謎水（なぞみず）
発行者：暗黒通信団

詳細情報：
<https://nazomizu.com/ledpi>

起動/終了方法 1 ～電池駆動の場合

1. バッテリホルダーに電池(CR2032)を入れる
2. スイッチを”Batt.”側にする
→電光表示が開始される
3. スイッチを”USB”側にする
→電光表示が終了する



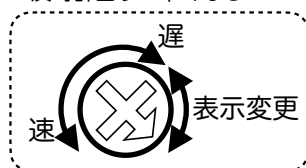
起動/終了方法 2 ～USB駆動の場合

1. USB Type-CをUSB端子に接続する
2. スイッチを”USB”側にする
→電光表示が開始される
3. スイッチを”Batt.”側にする
→電光表示が終了する

- 電池を入れたままUSBを接続できますが、その場合は表示を切ることができません

使い方 1：

- 表示速度を変更できます
 - ”治具B”で本体側の”c.可変抵抗”を回すと表示速度が変更されます
 - 時計回り～遅くなる
 - 反時計回り～早くなる



使い方 2：

- 表示形式を変更できます
 - ”治具B”で本体側の”c.可変抵抗”を時計回りに止まるまで回し、数秒待つとスクロール・フリップ表示が切り替わります
 - 切り替わったら抵抗を45度ほど反時計方向に戻してください（時計回りいっぱいのままだと、数秒ごとに表示が切り替わり続けます）

デバッグ方法：

- デバッグ端子を使ってプログラムを書き換えられます
- 書き換えには別途”WCH-LinkEエミュレータ”が必要です
- エミュレータと本体の”3V3”, ”GND”, ”SWIO”を接続します
- プログラミング方法、書き込み方法はch32v003関連サイトを参照してください

LED/ICピン対応：

